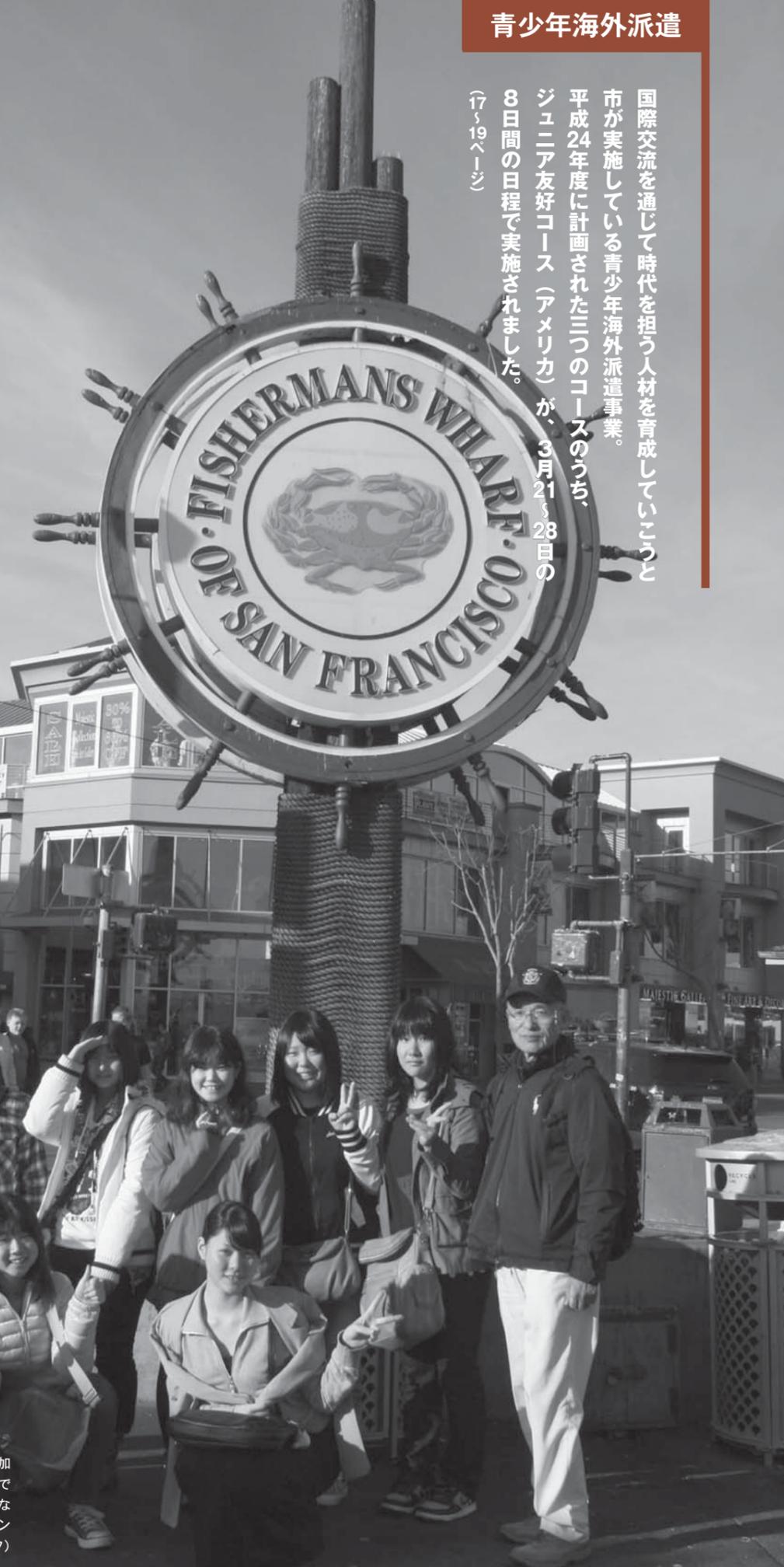


感動いっぱい アメリカ体験

国際交流を通じて時代を担う人材を育成していくことが
市が実施している青少年海外派遣事業。
平成24年度に計画された三つのコースのうち、
ジュニア友好コース（アメリカ）が、3月21～28日の
8日間の日程で実施されました。
（17～19ページ）



佐々木信一団長（右）以下9人の団員が参加した今回のジュニア友好コース。アメリカでの体験はもとより、団員相互の交流も大きな財産になったに違いありません（写真はサンフランシスコのフィッシャーマンズ・ワーフ）

石越

交通安全街頭キャンペーン



▲日頃からの安全運転に感謝を込めてストラップのプレゼント

日頃の安全運転に感謝

悲惨な交通事故を1件でも減らすことを目的に、石越地区交通安全推進会議の主権による交通安全街頭キャンペーンが4月10日、石越地区の口梨バス停付近の県道沿いで行われました。
このキャンペーンは、春の交通安全市民総ぐるみ運動の一環として実施されました。昨年設置された交通事故防止看板の前に、交通安全母の会の会員をはじめ、シルバードライバークラブの皆さんなど関係者約30人が参加。県道を通行するドライバーに携帯ストラップや交通安全啓発品などを手渡ししながら、安全運転を呼びかけました。

はじめまして。こんにちは

南方で子育てを応援するボランティア「あそぼの会」による「子育てサークル・あそぼの会」が4月16日、南方農村環境改善センターで開催され、親子20人が参加しました。
今回は「はじめまして。こんにちは」と題し、手遊びや絵本の読み聞かせを実施。最初はお母さんから離れなかつたお子さんも、最後はみんなの輪の中で笑顔になっていました。代表の鈴木きぬゑさんは「1年間の活動を通して、子どもたちの成長が楽しみ」と話されていました。
次回は5月14日、大嶽山を散歩する「さんぽでたんけん」を予定しています。

あそぼの会で一緒に遊ぼう

南方



▲参加した子供たちは大きな絵本に夢中です

津山

ガードパイプにライト設置



▲登米警察署などの協力のもと、ガードパイプヘライトを設置する隊員たち

通学路を明るく照らそう

津山もくもく安全隊による「地域の見守りeye（あい）作戦」が4月8日、関係団体の協力のもとに実施されました。津山町横山地区の国道45号線、伊貝橋から南沢川橋までの約2.5キロの区間に外灯が少なく暗いため、自転車や夜道を下校する中学生の足元を照らそうと隊員自らが計画。自分たちで購入したソーラー式ライトを、歩道のガードパイプに50センチ間隔で設置しました。
津山もくもく安全隊は、旧津山町時代からボランティア団体として活動。現在は、津山地区防犯指導隊としても地域防犯活動にご尽力いただいております。